

Kubo miki NEWS



久保みき

日本共産党さいたま市議会議員

議会ニュースをお届けします



知的障がい特別支援学校設立へ！

市長は施政方針演説で、「知的障害のある児童生徒の教育環境を向上させるため、新たな市立特別支援学校の整備を検討してまいります」と発言しました。

私が議員になって初めての質問は、「さいたま市立知的障がい特別支援学校の設立について」でした。それ以降も何度も設立を求める議会質問を重ねてきました。いよいよ夢が叶います。本当に感無量です。桜区の浦和工業高校の跡地が設置場所の候補地のひとつに上がっています。どうかみなさま、お近くに特別支援学校ができることになりましたら、ご理解、ご協力をお願いいたします。

約束を反故にされた運賃助成制度…

2026年度から実証実験できるよう全力で求めました

本来なら新年度から高齢者へのバス運賃助成制度が実施されるはずでした。私は「お出かけ応援制度（高齢者のバス料金100円）」を公約に掲げ、2022年12月議会に取り上げました。2024年2月議会において、当時の都市局長は「他都市で実施事例の多い運賃助成制度を含めた外出促進策を深度化してまいります」と発言し、当時の交通政策課長が「来年度はお出かけ応援制度のような運賃補助制度を含めて、実証実験案の立案をしていきたいと考えております」と発言しました。それが、1年も経たないうちに、いきなり「運賃助成は効果がない」と特別委員会で報告され、新年度の実証実験は夢の話となってしまいました。私は今議会の予算審査の際、強く抗議し、2026年度から実証実験できるように、新年度に準備することを求めました。市は「運賃助成制度は多くの政令指定都市で採用されており、一定の効果があると認識している。引き続き検討していく」と答弁しました。これからもさらに声をあげ、実現にむけて全力でとりくみます。



2023年12月議会の一般質問で、学校でのうさぎ飼育は無理があると

これでいいのか?!

学校のうさぎ飼育

指摘しました。市教育委員会は「適正な飼育環境の維持に努めてまいります」と答弁しましたが、議会質問後も次々と不適切な飼育環境が発見されています。通報等を受けてはじめて改善を実施するような状況が続いているため、「教育委員会に通報があってから動くのではなく、飼育を実施している全校を巡回し調査すべき」と求めました。

ところが市は、「昨年、うさぎ飼育を行っている学校にアンケートを行ったので、調査は済んだ」との答弁でした。これで本当に、命を大切にする教育ができるといえるのでしょうか？

フリースクール利用者に助成金の創設を

東京都は、フリースクールに通う子どもの家庭の経済的負担軽減のために、月額最大2万円の助成金を出しています。その結果、さいたま市のフリースクールに東京都から通う子どもには助成金があり、さいたま市の子どもにはない、という格差がうまれています。さいたま市に住んでいる子どもたちの中には、フリースクールに通いたいけれども経済的負担を理由に通えない子どもがいます。

私は、さいたま市でもフリースクール利用者への助成金を創設することを求めました。担当課は、心情的には辛いものがあると認めたものの、今は公教育に力を入れたい（さいたま市は不登校特例校の整備を計画しています）とのこと。さいたま市では、234名（2024年12月時点）の子どもたちがフリースクールにお世話になっています。引き続き、フリースクール利用者への支援を全力で求めていきます。



実現しました！

- 2024年2月議会の議案外質問で求めた带状疱疹ワクチン助成と老人クラブへの補助金改正が実現しました
- 2021年12月議会で「ごみ屋敷問題」で取り上げたコミュニティソーシャルワーカーの配置が決まりました

日本共産党 さいたま市議会議員

久保 みき



議会報告 2025年2月議会

日本共産党さいたま市議団

さいたま市浦和区常盤 6-4-4 (さいたま市議会内)
TEL 048-829-1811 FAX 048-833-8165
ホームページ <http://www.jcp-saitama.jp>

2025年度予算は、さいたま市史上2番目に多い1兆1663億円となりました。そのなかで、物価高騰対策のための予算額は約89億円、全体予算の0.8%です。市民が本当に必要としているのは、くらし、福祉、子育て、教育、地域経済、災害対策の充実ですが、一方で大型公共事業はこんなに増えました。私たちが納めた税金の使い方、みなさんはどう思いますか？

こんなに増えた 大規模公共事業

大宮駅グランドセントラルステーション化構想

大宮駅GCS化構想は、大宮駅の駅前広場を中心とした交通基盤整備、まちづくり、駅機能の高度化を三位一体ですすめる構想。いくらかかるのか、いつまでかかるのか分からない、天文学的な大事業。

さいたま市役所新庁舎建設

浦和区からさいたま新都心に移転が決定した、さいたま市役所。当初は220億円の予算だったが、今は**400億円以上**に。さいたま新都心駅からのデッキや、隣に建設される民間企業が利用する建物も予算に含まれており、予算を削減するどころか膨大になっている。

次世代型スポーツ施設（仮）建設

5000人収容のミニアリーナ建設。当初市民に示された予算は52億円だったが、今や**2.5倍の131億円**に。さらに軟弱地盤の改良などのコスト増が予想される。参画意欲のある企業からも「1万人規模でなければ採算は取れない」と指摘されている。

武蔵浦和学園義務教育学校建設

整備基本計画（133億円）・基本設計（183億円）・補正予算で**220億円**。それでも建設事業契約は入札不調。

約245億円分の 予算組み替えを 提案



予算組み替え提案を提出する党市議団

（仮称）

農業及び食の流通・観光産業拠点建設

事業費**232億円**。と畜場と道の駅をあわせた施設はさいたまスーパーアリーナ4つ分。地盤改良や資材高騰で大きく費用は増える見込みだがいまだ不明。道の駅の収益が過大に見込まれており、自然環境破壊の懸念も大きい。

地下鉄7号線延伸事業

事業費**1520億円以上**。市も認める「巨額のプロジェクト」。埼玉高速鉄道浦和美園駅から岩槻駅まで7km。建設の見通しは不明。中間駅のまちづくり（1万人規模）の費用も不明。コミュニティバスやデマンド交通など身近な公共交通こそ優先課題。

浦和駅西口再開発事業・市民会館うらわ

総事業費**709億円**のうち、公的資金は**448億円**。27階建てマンションは、ひと部屋5億円の部屋もあるとのこと。儲かるのは企業ばかり？市民会館うらわの建設費も、**167億円**と巨額に。

予算組み替えで 実現しよう！

- 介護保険料の引き下げ **25億円**
- 給食費（副食費）無償化 **27億6000万円**
- 学校給食費無償化 **56億円**
- 小規模事業者へ支援金を **20億円**

財源はどうするの？

- 各種基金の一部取り崩し **160億円**
- 地下鉄7号線整備基金積立の中止 **7億円**
- 義務教育学校建設の見直し **46億円**
- 大阪・関西万博自治体催事事業 **5101万円**



ほかにもこんなムダな事業が…

人形と盆栽を展示 大阪・関西万博に5日間で5101万円

万博に5日の出展で5101万円の予算を計上。1日約1000万円の予算をかけて、人形と盆栽を展示する予定です。海外パビリオンの出展とりやめが相次ぎ、「184日間の期間を地方自治体の数珠繋ぎ出展で乗り切る」という国からの圧力に屈したかたちです。さらに、「さいたま市の香り」という謎の事業に360万円の予算をつけますが。活用方法も決められていませんでした。たけこし連市議の予算委員会の質疑で、市も「この予算は高いと思う」と正直に答弁しました。

「さいたま市みんなのアプリ」物価高騰対策になったのか？

国からの物価高騰対策補正予算11.8億円を、「さいたま市みんなのアプリ」のポイント還元で全額活用したさいたま市。通常の3%還元を33%還元にするために、この予算を投じました。同キャンペーン期間は4月27日まででしたが、3月2日に前倒しで終了。

早期終了の要因となったのが「市民以外も使えます」と宣伝した、市の公式サイトや家電量販店の広告でした。この事業は、物価高騰対策になったのか。もっと市民のために使えたはずです。